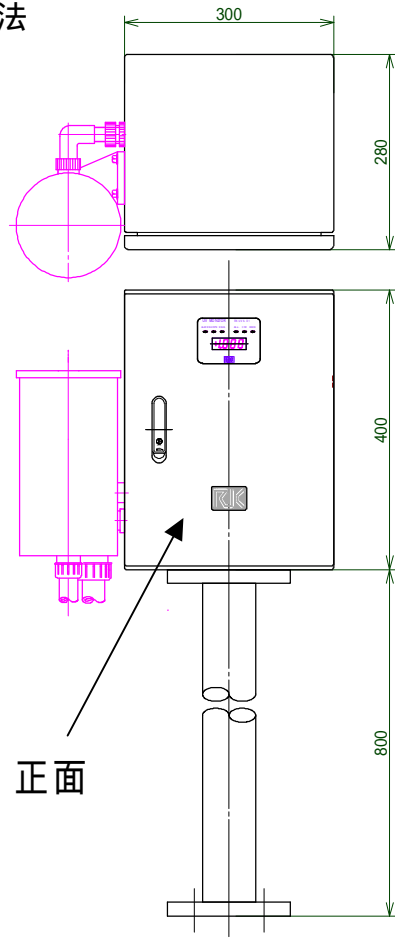
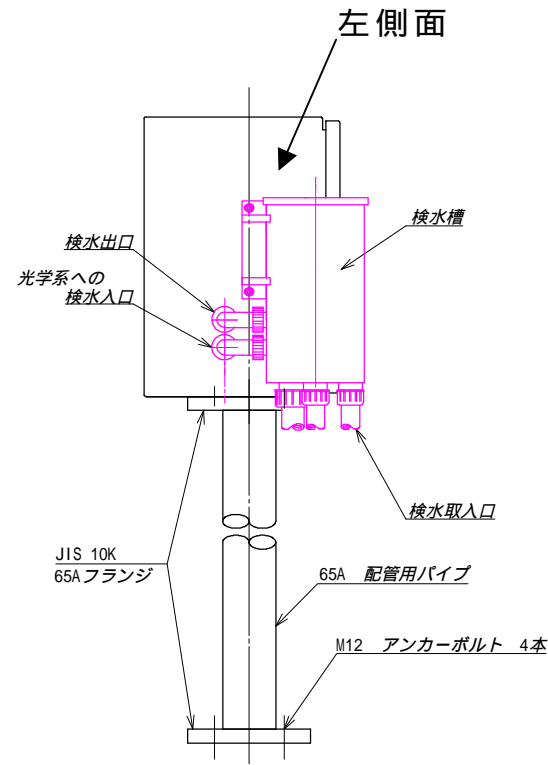


外形寸法

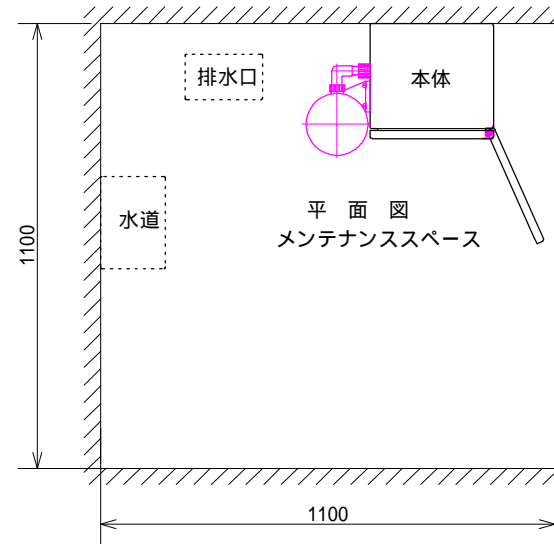


屋内設置例



設置スペース

設置の為のスペースは、右図程度は確保してください。
水道水があればメンテナンス時に便利です。



産業排水の総量規制に伴うCOD 相当濃度の連続測定に

紫外線吸光法による

有機汚濁モニター

Model **UVR-3000**



販売代理店：

製造元

 **株式会社 理工化学研究所**

〒611-0041 京都府宇治市横島町落合 144-1

TEL. 0774-23-3157 FAX. 0774-23-7107

URL <http://www.rikohkagaku.co.jp>

E-Mail: rkweb@rikohkagaku.co.jp.



株式会社 理工化学研究所

概要

本装置は、工場・事業場などからの排水及び河川・湖沼等の公共用水域の水の有機汚濁の程度を紫外線吸光度法によって連続測定するモニター（UV計）です。

紫外線吸光度法は、従来の有機性汚濁指標であるCOD、TOD、BOD、TOC等の測定と異なり、薬品や加熱操作等を必要としない光学特性を利用した測定法であり、測定遅れの無い連続測定が可能であり、装置のメンテナンスが用意であるという大きな特徴を持っています。

弊社が提供する標準型のUV計は、都市下水処理場の放流水や下水高度処理水等の有機物指標（紫外線吸光度）管理に適した連続測定計器です。

別途、上水原水のトリハロメタン生成物質管理用の長光路セル（100mm）を持つ高感度モニターや、高濃度排水管理用の直浸型センサーを持つモニターも用意しております。

特長

薬液封入型ワイパーによる測定セル窓の定期洗浄でセル窓に付着し易い有機成分が多く含まれていても窓は汚れません。（特許第2639624号）

高安定光路の採用と独自の洗浄方法で長期の安定な連続データが得られます。

測定セルの間隔は20又は、10mmから選べます、精度の高い測定が出来ます。

検出部と変換部は単独のコンパクトなケースに収まっており、自立スタンド型、壁掛け型等、設置場所に応じて任意に構成できます。

校正用スパン液無しで、スパン調整が出来る機能を標準装備しています。

検出部仕様

- 方式：1光束2波長連続測光方式、フローセル方式
- 測定波長：254nm（UV）、546nm（Vis）
- 測定範囲：0～2.0 Abs.
- 測定感度：0.005 Abs.
- セル長：20mm（標準）、10mm（オプション）
- セル洗浄：薬液封入式自動ワイパー（特許第2639624号）
- 洗浄間隔：10分～60分 選択固定、外部洗浄信号端子有り
- 校正用フィルター：NDフィルター
- 接液部材質：石英ガラス、PVC、SUS、PEEK、Viton

変換部一般仕様

- 測定レンジ：0～0.5、1.0、2.0 Abs./FS(10mmセル換算) JIS K 0807
- 直線性：±2%/FS以内（フタル酸カリウム標準液校正による）
- 繰返し再現性：±2%/FS
- 安定性：ZERO drift ±2%FS/day
SPAN drift ±2%FS/day
- 外部出力：電流出力 4～20mA（600以内）
その他、光源断、保守中、洗浄中、a接点
- 電源：AC100V 50/60Hz

構成

検出部

光源はペンタイプ低圧水銀灯を用い、光学系は高安定光路を採用しています。（1光束2波長連続測光）スパンフィルターを装備し、校正液を用いず調整できます。

参照光、測定光合わせて4個のフォトセル出力はそれぞれ高入力インピーダンスの電流増幅器で増幅され、ゼロ水を用いたときの出力を一定に調整します。

光学系、プリアンプ、ワイパー駆動機構等は一体のユニットとしてケース内に取り付けられ、ケース側面の検水槽配管に直結されるように構成されています。

プリアンプの出力、ワイパー駆動信号、電源等はケーブルにより、変換部と接続されます。



変換器部

変換器部は検出部のプリアンプから、254nmの測定光量、参照光量、546nmの測定光量、参照光量に比例した電圧出力を受け、対数変換器で、それぞれの波長での吸光度出力に換算した信号に変換し、UV、Vis.、又はUV-Vis.の電送出力を発信し、負荷演算器等に入力出来る様になっており、パネル面には3桁のLEDで表示されるようになっています。

また洗浄用のワイプ指令信号がタイマーにより供給出来る様になっています。

